

令和5年4月28日

赤穂市長 様

赤穂市立野外活動センター赤穂市指定管理者  
神姫バスグループ共同事業体  
代表団体 神姫トラストホープ株式会社  
代表取締役 切原 慎治

令和4年度 赤穂市立野外活動センターの事業報告について

赤穂市立野外活動センター指定管理者管理運営基準4-(2)-イの規定に基づき、令和4年度  
管理委託に係る事業について、別紙のとおり報告いたします。



1. 令和4年度 野外活動センター利用状況

区分		件数	利用者数		使用料徴収額	
			実人数	延人数	施設使用料	実費弁償料
市内	幼児	7 件	167 人	167 人	0	750
	小学生	24 件	590 人	643 人	0	138,500
	中学生	0 件	0 人	0 人	0	0
	高校生	2 件	13 人	13 人	0	0
	一般	611 件	3,527 人	4,750 人	0	48,530
	小計	644 件	4,297 人	5,573 人	0	187,780
市外	幼児	1 件	4 人	8 人	1,240	0
	小学生	11 件	152 人	309 人	29,910	102,860
	中学生	0 件	0 人	0 人	0	0
	高校生	0 件	0 人	0 人	0	0
	一般	658 件	2,100 人	3,982 人	289,850	47,140
	小計	670 件	2,256 人	4,299 人	321,000	150,000
合計		1,314 件	6,553 人	9,872 人	321,000	337,780

2. 管理業務の利用状況 (人数・件数)

		利用者人数・区分(実数)					合計	延人数		合計	件数		合計
		幼児	小学生	中学生	高校生	一般		市内	市外		市内	市外	
4月	令和4年	162	239	30	21	995	1,447	1,205	601	1,806	229	117	346
	令和3年	55	116	11	2	765	949	771	406	1,177	196	113	309
	増減	107	123	19	19	230	498	434	195	629	33	4	37
5月	令和4年	40	77	10	1	409	537	548	370	918	53	59	112
	令和3年	22	39	0	6	147	214	232	96	328	32	19	51
	増減	18	38	10	-5	262	323	316	274	590	21	40	61
6月	令和4年	40	53	1	1	224	319	330	193	523	36	36	72
	令和3年	19	25	0	1	171	216	203	181	384	34	32	66
	増減	21	28	1	0	53	103	127	12	139	2	4	6
7月	令和4年	41	63	6	9	246	365	352	241	593	39	37	76
	令和3年	32	78	8	10	233	361	328	319	647	43	39	82
	増減	9	-15	-2	-1	13	4	24	-78	-54	-4	-2	-6
8月	令和4年	41	167	32	19	294	553	380	639	1,019	31	63	94
	令和3年	64	142	18	17	390	631	716	349	1,065	52	47	99
	増減	-23	25	14	2	-96	-78	-336	290	-46	-21	16	-5
9月	令和4年	20	91	7	3	276	397	460	202	662	40	38	78
	令和3年	25	38	8	0	203	274	197	291	488	46	41	87
	増減	-5	53	-1	3	73	123	263	-89	174	-6	-3	-9
上期計	令和4年	344	690	86	54	2,444	3,618	3,275	2,246	5,521	428	350	778
	令和3年	217	438	45	36	1,909	2,645	2,447	1,642	4,089	403	291	694
	増減	127	252	41	18	535	973	828	604	1,432	25	59	84
10月	令和4年	26	82	3	1	365	477	423	318	741	57	54	111
	令和3年	47	92	21	4	384	548	519	354	873	61	53	114
	増減	-21	-10	-18	-3	-19	-71	-96	-36	-132	-4	1	-3
11月	令和4年	44	136	15	3	426	624	495	407	902	42	62	104
	令和3年	53	108	12	4	365	542	516	393	909	45	59	104
	増減	-9	28	3	-1	61	82	-21	14	-7	-3	3	0
12月	令和4年	30	67	4	2	291	394	311	256	567	30	36	66
	令和3年	14	14	3	0	170	201	101	283	384	20	50	70
	増減	16	53	1	2	121	193	210	-27	183	10	-14	-4
1月	令和4年	9	31	25	20	447	532	464	238	702	20	43	63
	令和3年	23	57	21	21	531	653	533	314	847	19	51	70
	増減	-14	-26	4	-1	-84	-121	-69	-76	-145	1	-8	-7
2月	令和4年	24	37	1	1	240	303	158	339	497	23	54	77
	令和3年	13	18	4	2	189	226	137	283	420	27	45	72
	増減	11	19	-3	-1	51	77	21	56	77	-4	9	5
3月	令和4年	35	97	6	18	449	605	447	495	942	44	71	115
	令和3年	41	77	10	6	345	479	351	500	851	39	65	104
	増減	-6	20	-4	12	104	126	96	-5	91	5	6	11
下期計	令和4年	168	450	54	45	2,218	2,935	2,298	2,053	4,351	216	320	536
	令和3年	191	366	71	37	1,984	2,649	2,157	2,127	4,284	211	323	534
	増減	-23	84	-17	8	234	286	141	-74	67	5	-3	2
合計	令和4年	512	1,140	140	99	4,662	6,553	5,573	4,299	9,872	644	670	1,314
	令和3年	408	804	116	73	3,893	5,294	4,604	3,769	8,373	614	614	1,228
	増減	104	336	24	26	769	1,259	969	530	1,499	30	56	86

### 3. 利用の料金の収入実績

		施設使用料	実費弁償料	小計	自主事業収入	総計
4月	令和4年度	35,880	37,160	73,040	498,804	571,844
	令和3年度	24,560	73,980	98,540	182,497	281,037
	増減	11,320	-36,820	-25,500	316,307	290,807
5月	令和4年度	29,440	14,260	43,700	650,936	694,636
	令和3年度	10,770	500	11,270	158,168	169,438
	増減	18,670	13,760	32,430	492,768	525,198
6月	令和4年度	16,890	21,130	38,020	338,151	376,171
	令和3年度	17,480	460	17,940	288,119	306,059
	増減	-590	20,670	20,080	50,032	70,112
7月	令和4年度	10,030	19,540	29,570	520,950	550,520
	令和3年度	27,340	16,320	43,660	477,330	520,990
	増減	-17,310	3,220	-14,090	43,620	29,530
8月	令和4年度	45,630	104,120	149,750	877,777	1,027,527
	令和3年度	9,410	153,390	162,800	919,761	1,082,561
	増減	36,220	-49,270	-13,050	-41,984	-55,034
9月	令和4年度	12,570	53,700	66,270	511,158	577,428
	令和3年度	16,580	1,210	17,790	461,982	479,772
	増減	-4,010	52,490	48,480	49,176	97,656
上期計	令和4年度	150,440	249,910	400,350	3,397,776	3,798,126
	令和3年度	106,140	245,860	352,000	2,487,857	2,839,857
	増減	44,300	4,050	48,350	909,919	958,269
10月	令和4年度	26,620	1,670	28,290	482,167	510,457
	令和3年度	31,570	32,710	64,280	496,981	561,261
	増減	-4,950	-31,040	-35,990	-14,814	-50,804
11月	令和4年度	30,000	10,900	40,900	527,941	568,841
	令和3年度	37,220	63,820	101,040	560,354	661,394
	増減	-7,220	-52,920	-60,140	-32,413	-92,553
12月	令和4年度	21,220	1,820	23,040	285,960	309,000
	令和3年度	26,160	80	26,240	269,447	295,687
	増減	-4,940	1,740	-3,200	16,513	13,313
1月	令和4年度	22,420	450	22,870	205,830	228,700
	令和3年度	33,680	940	34,620	280,369	314,989
	増減	-11,260	-490	-11,750	-74,539	-86,289
2月	令和4年度	28,540	25,550	54,090	305,702	359,792
	令和3年度	24,250	0	24,250	350,417	374,667
	増減	4,290	25,550	29,840	-44,715	-14,875
3月	令和4年度	41,760	47,480	89,240	533,197	622,437
	令和3年度	48,520	21,520	70,040	572,036	642,076
	増減	-6,760	25,960	19,200	-38,839	-19,639
下期計	令和4年度	170,560	87,870	258,430	2,340,797	2,599,227
	令和3年度	201,400	119,070	320,470	2,529,604	2,850,074
	増減	-30,840	-31,200	-62,040	-188,807	-250,847
合計	令和4年度	321,000	337,780	658,780	5,738,573	6,397,353
	令和3年度	307,540	364,930	672,470	5,017,461	5,689,931
	増減	13,460	-27,150	-13,690	721,112	707,422

#### 4. 管理業務に係る経費の収支状況

##### <<収入>>

項目	計画金額	実績金額	備考
指定管理料	9,600,000	9,600,000	
使用料収入等	1,524,000	658,780	
自主事業収入	2,085,000	5,548,189	
その他収入	80,000	190,384	自動販売機手数料
合計	13,289,000	15,997,353	

##### <<支出>>

項目	計画金額	実績金額	備考	
人件費	給与・賞与	5,906,600	5,318,204	
	法定福利費	278,700	132,618	
	厚生福利費	70,000	69,683	
小計	6,255,300	5,520,505		
事務費	消耗品費	530,000	582,166	自主事業開催経費含
	図書印刷費	10,000	40,700	
	通信運搬費	297,000	317,756	
	宣伝広告費	60,000	7,326	
	教育実習費	25,000	12,111	
小計	922,000	960,059		
管理費	委託費	535,000	532,172	
	旅費	220,000	144,455	
	水光熱費		755,094	電気代
			289,210	水道代
			28,424	ガス代
	修繕費	400,000	172,850	
	燃料油脂費	50,000	41,888	
	諸施設使用料	42,000	812,132	
	被服費	20,000	93,249	
	諸手数料	0	356,860	
その他経費	1,650,200	1,171,453	自主事業開催経費含	
租税公課	800,000	583,551	清算消費税含(567,151円)	
小計	4,672,200	4,981,338		
事業費	保険料	100,000	134,609	
	一般管理費	879,000	4,400,842	
小計	979,000	4,535,451		
合計	12,828,500	15,997,353		

#### 5. 自主事業にかかる経費の収支状況

##### <収入>

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	3,851,639	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	1,052,500	
アウトドア・バーベキュー用具等提供事業	42,600	
バーベキュー用具等物品販売事業	192,050	
自動販売機設置手数料	190,384	
その他事業	409,400	
合計	5,738,573	

##### <支出>

項目	金額	備考
ドームテント設置・運営事業	223,589	
バーベキュー・牡蠣食材販売事業	729,765	販売品仕入れ経費
バーベキュー用具等物品販売事業	96,840	販売品仕入れ経費
その他事業	13,000	
合計	1,063,194	

収入	5,738,573
支出	1,063,194
差額	4,675,379

## 6. 管理業務等の実施状況

### (1) はじめに

令和4年度の主な取り組みは、昨年度設置したグランピング施設の利用の安定化を図るため、スタッフ間でのサービスレベルの統一や設備の充実を図りました。

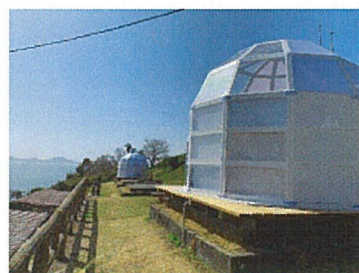
また新型コロナウイルス感染症の拡大もあるなか、キャンプブームが継続していることにより、キャンプ利用の増加や利用者の定着を図ることができました。

#### ①新たな施設の姿 ～ドームテントの設置～

令和3年3月に設置したドームテントが開設1年を経過し、昨年同様当初の利用予想を上回る389棟の利用があり、昨年利用実績より65棟増加いたしました（下表利用状況表参照）。

利用者の中には複数回利用いただいている方や、利用後に次回の予約をされる方など、利用者の満足度は高いものと認識しています。

利用増加の反面、施設設備及び備品の消耗も想定より進んでおり、設備の改修及び補修、備品の更新も複数回実施しており、今後も快適な施設環境をすることにより、高い満足度を維持したいと考えています。



#### 【ドームテント利用状況】 ※稼働率＝利用棟数÷月間利用可能棟数

月	利用件数	宿泊者数	利用棟数	稼働率(%)
4月	35	131	38	65.5
5月	37	114	39	65.0
6月	24	56	24	42.9
7月	33	109	34	58.6
8月	53	191	57	98.3
9月	29	90	32	57.1
10月	30	89	30	51.7
11月	36	113	38	67.9
12月	21	64	21	42.0
1月	14	46	16	30.8
2月	20	53	20	38.5
3月	37	123	40	69.0
合計	369	1,179	389	57.9
昨年	304	1,019	324	48.8
増減	65	160	65	9.1

## ②施設の設置目的にあった利用 ～キャンプ利用の増加～

昨年度末頃より増加傾向にあったキャンプ利用も市内類似施設の利用されたことから利用が減少する結果となりましたが、施設の満足度は引き続き高く、リピート利用も多くあることから、利用件数は減少したものの、一定の利用はあると認識しております。

また、いずれの利用者の方も『施設内の美観維持』『スタッフのサービスレベル』にはご満足いただいております、当施設のリピート利用が定着されている要因と考えております。

### 【直近4カ年のキャンプ利用件数】

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	65	215	562	491

## (2) 施設の利用状況について

新型コロナウイルス感染症に起因する行動制限が緩和されたことにより、これまでも多数ご利用のあったバーベキュー利用や談話室利用が回復し、利用者数も年間10,000人に迫る利用となりました。

利用者数が回復傾向にあるなか、ソロキャンプやドームテント利用といった小規模利用も重なり、利用件数が昨年度7%増となる1,314件と過去最多の利用件数となり、施設の利用機会を提供できる結果となりました。

このような利用状況のなか、談話室での合宿利用といった大人数での利用は未だ少なく、利用が回復するまでは時間を要すると考えております。

### 【直近4カ年の利用件数及び利用人数】

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件数	732	618	1,228	1,314
人数	10,132	5,377	8,373	9,872

## (3) 安全対策と緊急時の対応

『安全は全てに優先する』という安全に関する基本理念のもと、施設内の日常的な巡視方法や手順を再確認し、施設・設備の危険箇所や異常箇所の発見、及び不審者の有無についてもチェックを行い、速やかな対応処置により危険を排除して安全確保に努めました。

- ・『危機管理マニュアル』を再確認し、災害発生時の対応、避難経路等をスタッフ及び利用者への周知徹底を図っています。
- ・芝生広場やフレッシュ広場に設置されている木製ベンチや机が、経年劣化により腐食しており、利用中の転倒事故の発生が予想されることから、設備の改修や利用頻度の少な

い設備を撤去し、事故の未然防止に努めました。

- ・管理棟前手摺の塗装劣化による裂傷を防ぐための再塗装作業や、同箇所転落防止網の交換作業、芝生広場・フレッシュ広場の防護柵の補修等、利用者の安全に配慮した施設管理を行いました。

#### 【安全管理・危機管理に関する基本事項】

##### 事故防止

- ・日常の巡回巡視による危険箇所のチェックと改善の実施
- ・専門業者による定期点検と施設責任者による最終確認
- ・利用者への注意喚起

##### 衛生管理

- ・食品衛生責任者による、毎日の厨房管理や食器類の衛生管理
- ・消毒液・マスクの常備
- ・感染症予防の対応
- ・施設内の消毒作業
- ・スタッフによる巡回中の清掃

#### (4) 利用者ニーズの把握について

全利用者様に対しアンケート調査を行ったうえ、スタッフによる声掛けや施設ホームページに意見聴取のページを設け、多方面よりニーズの把握に努めました。

#### (5) 施設運営ルールの再徹底

##### ○施設設置条例・協定書等の理解

利用者に対して施設の利用条件や利用の案内を適切に行うために、本社スタッフも含めて施設設置条例・指定管理者基本協定書を理解するためのミーティングを実施したことに加え、利用案内・接遇に関する職場内研修を実施しました。

また次年度に新たな管理期間を迎えるにあたり、事業計画書内容の説明や運用方法、課題や問題点を洗い出し、スムーズな計画実施に向けてミーティングを行いました。



(6) 施設維持管理について

令和4年度に実施した主要な維持管理と修理内容は次の通りです。

令和4年4月～令和3年 10月の期間の月1回	業務内容：環境衛生管理業務（害虫駆除薬剤散布） 実施場所：厨房、談話室、事務所、トイレ、倉庫、機械室 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和4年4月21日	業務内容：大便器フラッシュバルブ取替工事 実施場所：管理棟男子トイレ 実施者：有限会社瀬戸内工業所
令和4年5月9日	業務内容：消防設備総合点検（総合点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和4年8月4日	業務内容：床材補修作業（床材改修） 実施場所：展望台横ウッドデッキ 実施者：施設職員
令和4年11月7日	業務内容：消防設備総合点検（任意点検） 実施場所：管理棟内消防設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和4年11月7日	業務内容：電気設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内電気設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和4年11月7日	業務内容：ボイラー設備点検（任意点検） 実施場所：管理棟内ボイラー設備 実施者：山陽アメニティサービス株式会社
令和4年11月7日	業務内容：老朽化設備（木製テーブル、いす）撤去 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員
令和4年11月11日 令和4年12月1日	業務内容：老朽化設備（木製テーブル、いす）撤去 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員
令和4年12月1日	業務内容：老朽化設備（木製テーブル、いす）撤去 実施場所：芝生広場 実施者：施設職員
令和4年12月27日	業務内容：床材補修作業（防腐剤塗装） 実施場所：展望台横ウッドデッキ 実施者：施設職員
令和5年3月14日、15日	業務内容：天板及び座面改修作業 実施場所：フレッシュ広場木製テーブル 実施者：施設職員

## (7) 自主事業について

### ①物品販売事業（バーベキュー食材・用品提供・ゴミ袋販売）

実施概要：利用者の利便性向上のため、バーベキュー食材や地元産牡蠣の販売（取次）の実施、バーベキュー用品のレンタルを行いました。

実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

販売実績：バーベキュー食材	1,052,500円
【内訳】一般販売食材	183,000円
ドームテント食材	837,000円
牡蠣販売	32,500円
用品レンタル	42,600円
用品販売	192,050円
その他販売・レンタル	409,400円
【内訳】ウッドデッキ	228,000円
ゴミ袋販売	39,500円
焚火架台	141,900円

### ②ドームテント設置事業

実施概要：昨今の新たなアウトドアシーンで流行のグランピング施設を設置し、新規利用者層の開拓を図りました。

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

利用実績：利用件数	369件
利用棟数	389棟
利用人数	1,059名（実数）
利用料収入	3,851,639円

### ③元旦施設無料開放（初日の出観覧会）

実施概要：毎年実施している元旦の初日の出観覧会を実施（施設無料開放）。コロナ禍の中、例年以上の方にご来場いただきました。

実施日：令和4年1月1日 午前6時30分～午前8時

来場者：約350名

### ④自動販売機設置

実施概要：来場者の利便性向上のため、玄関前に飲料水及びアイスクリームの自動販売機を設置しました。

実施期間：令和4年4月1日～令和5年3月31日

販売実績：190,384円（手数料収入）

1 評価対象施設

公の施設の名称	赤穂市立野外活動センター			
所在地	赤穂市御崎708番地1			
指定管理者	団体名： 神姫バスグループ共同事業体	指定期間	開始日	令和3年4月1日
	所在地： 姫路市花田町一本松字牛塚1-1		終了日	令和6年3月31日
選定方法	公募・非公募		評価実施年	指定期間3年のうち2年目
施設設置目的	市民の健康づくりに寄与し、青少年の体力向上と情操の涵養を図り、自然に親しむ野外活動を普及振興する。			
主な実施事業	アウトドア用品レンタル事業、バーベキュー食材販売事業、アウトドアイベント開催等			

2 利用状況（目標と実績）

成果指標		単位	R3目標	R3実績	R4目標	R4実績	R5目標	R5実績
a	利用件数（市内）	件	370	614	390	644	410	
	利用件数（市外）	件	214	614	235	670	260	
b	実利用者数（市内）	人	6,200	3,257	6,630	4,297	7,100	
	実利用者数（市外）	人	2,640	2,037	2,830	2,256	3,030	
c	延利用者数（市内）	人	7,000	4,604	7,480	5,573	8,010	
	延利用者数（市外）	人	3,000	3,769	3,210	4,299	3,440	
d	施設使用料（市内）	円	0	0	0	0	0	
	施設使用料（市外）	円	380,000	307,540	394,000	321,000	410,000	
e	実費弁償料（市内）	円	450,000	361,670	465,000	187,780	480,000	
	実費弁償料（市外）	円	650,000	3,260	665,000	150,000	680,000	

3 指定管理業務にかかる収支状況

区分		R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算
収入計	A	15,229,481	15,997,353	13,493,500
指定管理料		9,600,000	9,600,000	9,600,000
利用料収入	C	672,470	658,780	1,570,000
自主事業収入		5,017,461	5,738,573	2,323,500
その他		-60,450	0	0
支出計	B	15,229,481	15,997,353	13,059,200
事業費		12,042,085	14,934,159	11,554,000
内、人件費	D	5,349,336	5,520,505	6,401,000
内、再委託料	E	757,672	532,172	535,000
自主事業費		3,187,396	1,063,194	1,505,200
事業収入	A-B	0	0	434,300
利用料比率	C/A	4.4%	4.1%	11.6%
人件費率	D/B	35.1%	34.5%	49.0%
再委託費比率	E/B	5.0%	3.3%	4.1%

- ・ 支出欄「D・E」は代表的な内訳を取り上げているため合計額とはならない。
- ・ 事業費は、該当年度及び過年度決算を記入する。また、右欄には、次年度予算を記載する。

補足説明	
------	--

4 事業評価

評価区分	評価項目	自己評価	所轄評価	
①サービスの履行	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を実施している。	B	B
	第三者への委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており適切である。	B	B
		外部委託業者に対して協定書等を遵守しているか。	B	B
	法令順守等	法令・条例に基づき、必要な点検、報告等を行っているか。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守しているか。	B	B
		個人情報の漏洩、滅失等の事故防止対策を講じているか。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされているか。	B	B
		協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
	連絡調整	協定書等に従い、各種報告書を市に提出している。	B	B
		市との連絡調整を適切に行い、情報の共有が図れている。	B	B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。	B	B
緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練を行っている。		B	B	
緊急時又は危険予測時、直ちに措置を講じ、市に報告を行った。		B	B	
財務状況	指定管理者の財務状況は、業務の継続が可能な状態である。	B	B	
総括	[業務の実施体制]に関する評価【標準18項目/本施設18項目】	B	B	
②サービスの質	施設管理	協定書等に従い、閉館日、閉館時間等を遵守している。	B	B
		事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じている。	A	A
	利用者対応	利用許可、利用料金の徴収、減免、還付等の受付業務を適切に行っている。	B	B
		利用者に対して設備、備品等を適切に提供している。	B	B
		言葉使い、態度、服装等接遇が適切である。	A	A
	事業運営	事業計画に即し、必須事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	B
		事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	A	A
	維持管理	仕様書等に従い、野外活動センターの維持管理を適切に行っている。	B	B
		仕様書等に従い、野外活動センターの施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
		備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書等に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
	環境配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされている。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
要望、苦情等を整理し、遅延なく市に報告している。		B	B	
事業評価	利用者アンケート調査を実施し、その結果を利用者等に公表している。	B	B	
	利用者の利便性向上を図るため、自己評価を実施し、利用者等に公表している。	B	B	
提案事項	指定管理者の提案事項については、市と協議し、提案のとおり実施している。	A	A	
利用状況	利用者数、稼働率等は、目標に対し妥当な水準である。	B	B	
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【標準20項目/本施設20項目】	B	B	
③安定性	経理事務	専用の口座等を備え適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算を執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
	総括	「経費の収支等」に関する評価【標準4項目/本施設4項目】	B	B

<b>所見</b> <small>(成果・課題等)</small>	<b>【自己評価】</b> 昨年度設置したドームテントの利用が引き続き好調のまま推移し、昨年以上の稼働率となり施設になくてはならない設備となった。多数ご利用いただいているだけでなく、リピート利用も増加傾向にあり、施設にご満足いただいているということが伺える結果となった。 コロナ禍による行動制限も緩和され、バーベキュー利用や談話室の利用も回復傾向だが、いずれも小規模グループでの利用が回復しており、未だ団体での利用が低調のままであるため、小規模利用の増加を目標としたい。 多数ご利用いただいている中で、月に複数日の施設整備を設けたことにより、施設内の美観維持や設備改修を行えたことにより、快適な施設環境を提供できる結果となった。		
	<b>【所管評価】</b> ドームテントやドッグランの設置等新たな試みで利用者の拡大に取り組んでおり市の魅力発信に貢献している。 指定管理の最終年度を迎えるが、引き続きサービスの充実を図りたい。		
前年評価	B	総合評価	B

\* 評価基準

自己評価・所管評価	A	優良	基協定書、仕様書、事業計画書等を遵守し、要求水準より優れている。
	B	良好	協定書等を遵守し、要求水準を概ね満たしている。
	C	要改善	協定書等に定める要求水準を下まわっており、改善が必要と認められる。
総括	A	優良	評価基準項目が全てB以上であり、かつAが過半数である。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	評価基準にCが1割以上含まれる。
総合評価	A	優良	自己評価、所轄評価の「総括」にCが含まれず、かつAが過半数以上ある。
	B	良好	優良、要改善以外の評価
	C	要改善	自己評価、所轄評価の「総括」にCが2つ以上含まれる。